



2025年 2月 21日 の国際母語の日に際しての世界エスペラント協会からのメッセージ

2025年に、私たちは第25回の国際母語の日を祝います。21世紀の初めに国連とユネスコによって印されたこの特別な日は、個人の成長と社会参加のための言語の重要性、特に人生の始まりから、最大限に自己実現し、最大限に社会に参加できるようにするために、母国で学習を始める権利を人々に想起させることを目的としています。

言語の多様性の縮小は、多くの場合、文化の多様性と生物多様性の減少に関係しています。言語は、知識と経験を世代から世代へと伝えます。言語は、家庭、教育、政治参加、芸術や科学など、あらゆる所で、また生活の中のあらゆる活動の中で、私たちに付随しています。

私たちは現在、先住民族の言語の人権を促進し、先住民族の母語の保存、復活、普及を保証することを目的とした国際先住民言語の10年（2022年から2032年）を迎えていることに注目しています。世界エスペラント協会は、2022年の大会で、この国際10年に専念しました。

言語は、持続可能な開発と社会へ十二分に参加するために重要です。言語的な問題は、持続可能な開発目標に関する一般的な議論では、十分な注目を受けていません。

2020年、当協会は持続可能な開発のための17の目標へのガイドをエスペラント（語）で公表しました。このガイドでは、効果的な言語コミュニケーションがなければ、目標は十分に実現されないと注意を促しています。というのは、言語はコミュニケーションの基礎を形成し、共同作業には双方向のコミュニケーションが必要であるためです。言語は、話すためのものと聞くためのものがあります。このガイドでは、平和、繁栄、相互理解という共通の目標を達成するための対話を最大限に高めるための言語学習の重要性を強調しています。これには、これらの言語の中でも、国際語エスペラントの背景にある考え方は、とりわけ平等、平和、協力を重視していると書かれています。

私たちは、これまでのことを繰り返します。言語の権利は、対話、協力、包括性、そして公正な社会を促進する上で重要な役割を果たします。2025年の国際母語の日に際して、特にこのことを心に刻みましょう。